

記載例(創業者用(美容業))

振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書

事 項		内 容	
振興計画上の位置付け		営業者及び従業員の技能の向上に関する事項	
生産性向上に係る事業計画書の有無		有 (裏面参照：低減利率 0.30%)	無 (表面のみ：低減利率 0.15%)
本事業計画の目標達成期間		平成30年11月1日～令和元年10月31日(1年間)	
現状分析	立地条件	駅から徒歩10分弱。大通りから一本入った公園の前に位置	
	主な顧客	女性と若い男性	
	お店の特徴	無料のカウンセリング、スカルプケアを実施	
	お店の強み	大通りの一本裏なので静かな雰囲気。席から公園の緑が観られる。	
経営課題 (何が問題となっているか)		「サービスの質」と「卓越した技術」を売りにする必要あり。 近隣に低価格カット店が進出し、競争激化 従業員のさらなる技術の向上と新技術の習得が必要 サービスメニューの充実	
経営課題の解決策		SNSでの積極的な情報発信だけでなく、サロン検索サイトで口コミを投稿した顧客への割引サービスを実施する。 従業員を研修に参加させ、新しい技術や接客などを習得させる。 ヘッドスパメニュー、メイクメニュー等、付加価値の高いメニューを追加する。	
経営課題の解決のために必要な費用		運転資金 ○○千円 ※○をつける 設備資金 ○○千円 借入内容 店舗内装、美容椅子、洗髪ユニット、人件費等諸経費 内訳 店舗内装費用 ○○千円(見積書 別添1) 設備導入費用 ○○千円(見積書 別添2) 人件費等諸経費 ○○千円(創業計画書) 合 計 ○○千円(詳細は借入申込書参照)	
資金調達計画		・自己資金 ○○千円 ・日本公庫 ○○千円	
期待される成果等 (売上の増加、来客数の増加、経費の縮減等できるだけ具体的に記載)		①売上：(平日月商○○千円+休日月商○○千円)×12ヶ月=○○千円 ②顧客単価等：新規顧客月10名以上、平均客単価6,000円以上 ③営業利益率：人件費・家賃等固定費○○%以内 → ①～③の成果により、○年以内に収益率○○%を達成	

平成30年11月○○日

下記の事業計画書を提出します(該当するものを☑してください)。

- 振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書
 生産性向上に係る事業計画書

(商号又は法人名) ○○美容室
 (住所又は所在地) ○○県▲▲市◇◇町1-2-3
 (事業主又は代表者名) 鈴木 美子

上記事業計画について、確認済みである。

会計書類は、青色申告書(その他(創業計画書))を事業者において準備していることを確認した。

平成30年11月○○日

(組合名) ○○県美容業生活衛生同業組合
 (理事長名) 木鈴 八太

組合記入欄 (この欄は記入しないでください)	事業成果についての理事長の評価、所見等	年	月	日	記載
---------------------------	---------------------	---	---	---	----

(裏面)

生産性向上に係る事業計画書（振興事業促進支援融資制度）

1. 計画の内容（生産性向上ガイドライン・マニュアルに基づく取組み）

生産性向上ガイドライン・マニュアル上の位置づけ	
領域	分類（該当するもの全てに☑を付ける。）
収益向上	<input checked="" type="checkbox"/> 特長ある店舗・施設づくりで業績を改善しよう
	<input type="checkbox"/> 費用を削減して収益性を高めよう
	<input checked="" type="checkbox"/> ICTを活用して集客力を高めよう
顧客満足向上	<input checked="" type="checkbox"/> お客様の満足度を高めよう
	<input type="checkbox"/> 優良顧客を増やそう
	<input type="checkbox"/> インバウンドのお客様を増やそう
	<input type="checkbox"/> 従業員のスキルとやる気を高めよう
労働環境改善	<input checked="" type="checkbox"/> 作業しやすいお店・職場にしよう
	<input checked="" type="checkbox"/> 効率的に作業しよう
	<input type="checkbox"/> 人的ミス（ヒューマンエラー）をなくそう

2. 生産性向上の目標

計画期間 (注1)	平成30年11月1日 ~ 令和元年10月31日（1年間）
--------------	------------------------------

領域	具体策	現状 (注2)(注3)	計画期間終了後 (注2)
収益向上	・カットだけでなく、ヘッドスパ等の付加価値の高いメニューを提供 ・SNSやサロン検索サイトを活用した集客強化	平均客単価 5,000円	平均客単価 6,000円
顧客満足向上	・無料カウンセリングやスカルプケアを実施し、顧客一人一人の状況に応じたサービスを提供	新規顧客月 10名	新規顧客月 15名
労働環境改善	月1回以上、全従業員での社内研修を実施し、カットだけでなく、ヘッドスパ、メイク、カウンセリング等の知識を従業員間で共有する。	ヘッドスパ等の施術ができる従業員：1名	ヘッドスパ等の施術ができる従業員：全従業員

	現状（注3）	計画期間終了後
営業利益	〇〇〇千円	〇〇〇千円

(注1) 計画期間は「振興事業促進支援融資制度に係る事業計画書」の「本事業計画の目標達成期間」を記載してください。

(注2) 可能な限り、数値を用いてご記載ください。

(注3) 創業前及び創業後1年未満の場合は、見込を記載してください。

3. 実施にあたり、指導を受けている経営指導員等の専門家がいる場合は、その専門家の所属・名前

(所属している機関名)	△△△県生活衛生営業指導センター
(担当者名)	山田 太郎